

文化遺産総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	秋田県 大館市	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	大館市文化遺産活用まちづくり事業		【計画の改善時期】 平成 年度
4 実施計画期間	平成 30 年度 ～ 平成 34 年度		
5 実施計画の概要			
「大館市歴史的風致維持向上計画」（平成29年3月策定）を踏まえ、文化遺産を活用して地域活性化を推進するとともに、市民の誇りと郷土愛を醸成することを目指し、下記の取り組みを実施する。 また、実施計画期間中は、下記の取り組みを通じて、地域全体で住民自らが歴史的風致の維持向上に取り組み、文化遺産を保存継承し、活用するための体制の確立を目指す。 ※大館市歴史的風致維持向上計画 http://www.city.odate.akita.jp/dcity/rekisimati/files/rekishitekifutiijikojokeikakul.pdf ※大館市観光基本計画 http://www.city.odate.akita.jp/dcity/kankou/files/odateshi_kankoukihonkeikaku2016-2023.pdf ※大館市ふるさとキャリア教育 http://www.city.odate.akita.jp/dcity/kyokenkyu/11-7371.html			
6 実施体制			
【全体の企画・調整】 教育委員会歴史文化課：文化財の取扱、その他指導・調整等 【補助事業の指導】 建設部まちづくり課：構成団体の指導・調整等 【連携】 産業部観光課：観光業務に関する連携等 教育委員会学校教育課、教育研究所：ふるさとキャリア教育に関する連携等 【実施団体】 大館市文化遺産活用まちづくり実行委員会 構成団体（大館市郷土芸能保存協会、大館・北秋田建築士会、大館神明社例祭余興奉納実行委員会）			
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成29年度交付決定額： 0 千円	平成30年度申請額： 12,466 千円
(2) 実施事業の概要		別紙②のとおり	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
市民の文化遺産に対する関心や意識が向上することは、大館市の歴史的風致維持向上を目指す原動力となり、文化遺産を自らの手で保存継承することや、地域活性化の取り組みにつながる事が期待できる。 また、行政と民間団体、文化財保護団体による連携・協力体制が構築されることにより、歴史的風致維持向上計画に登載した具体的な計画の実現に寄与することができる。			
10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）			
事業概要：	大館城下町地区街なみ環境整備事業：国土交通省補助事業		
事業概要：	重要文化財（大館八幡神社）覆屋		
事業概要：	小・中学校社会科副読本作成業務：市単独事業		
11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等			
『大館市歴史的風致維持向上計画』が平成29年3月17日に認定されている。			
12 担当部局			
地方公共団体 担当部局課	秋田県 大館市 教育委員会 歴史文化課		

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1 :	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 1 :	地域の文化遺産関係資料館、博物館等の年間入館者数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 1 :	大館郷土博物館の年間入館者数			関連事業:	①②	
目標値 1 :	【現状値】 平成 29 年度 4,546 人 ⇒ 【目標値】 平成 34 年度 4,800 人					
設定根拠 1 :	過去5年間の平均入館者数を現状値とし、市人口減少率5%をかさ上げすることを目標として設定					
進捗状況 1 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	平成 35 年度	
人	人	人	人	人	人	
目標区分 2 :	地域の文化資源を核としたコミュニティの再生・活性化					
評価指標区分 2 :	地域の文化遺産を活用した取組数 (本事業の取組を除く) (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 2 :	歴史的建造物等に対する修繕・活用案など対策を提示する			関連事業:	③	
目標値 2 :	【現状値】 平成 29 年度 0 件 ⇒ 【目標値】 平成 34 年度 20 件					
設定根拠 2 :	ヘリテージマネージャーの継続した実践活動として設定					
進捗状況 2 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	平成 35 年度	
件	件	件	件	件	件	
目標区分 3 :	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分 3 :	祭礼行事等の保存会会員数、保存団体数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 3 :	大館ばやし保存会の会員数			関連事業:	④⑤⑥	
目標値 3 :	【現状値】 平成 29 年度 21 人 ⇒ 【目標値】 平成 34 年度 25 人					
設定根拠 3 :						
進捗状況 3 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	平成 35 年度	
人	人	人	人	人	人	
目標区分 4 :	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分 4 :	祭礼行事への参加住民数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 4 :	大館神明社例祭余興奉納行事への参加者数			関連事業:	④⑤⑥	
目標値 4 :	【現状値】 平成 29 年度 2,410 人 ⇒ 【目標値】 平成 34 年度 2,410 人					
設定根拠 4 :	人口社会減の状況から、現状維持を設定					
進捗状況 4 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	平成 35 年度	
人	人	人	人	人	人	

目標区分 5 :	地域の文化資源を活用した集客・交流				
評価指標区分 5 :	地域の文化遺産への来場者数（具体的な指標は次のとおり）				
具体的な指標 5 :	桜櫓館、秋田犬会館、曲げわっぱ体験工房の年間入込客数		関連事業:	①②	
目標値 5 :	【現状値】 平成 29 年度 9,630 人 ⇒ 【目標値】 平成 34 年度 11,164 人				
設定根拠 5 :					
進捗状況 5 :	各年度、状況値、目標に対する達成率				
平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	平成 35 年度
人	人	人	人	人	人

8 (2) 実施事業の概要 別紙

事業①：	大館市文化遺産ホームページ作成事業	実施団体：	大館神明社例祭余興奉納実行委員会 大館ばやし保存会		
事業区分：	情報発信	事業期間：	平成 30 年度 ～ 平成 34 年度		
事業概要：	大館神明社例祭奉納行事は古い歴史を有しており、大館囃子を奏でる十数台の奉納曳山車や十台近くの子ども神輿が各町から繰り出されるが、その知名度は低い状況である。 同様に今も伝承される伝統工芸品である大館曲げわっぱ、天然記念物である秋田犬に関わる文化は世界的にも注目されるものであるが、その原点が大館にあることはあまり知られていない。 こうしたかつての大館城下町の文化財について広く情報を発信して、県内外へそれぞれの素晴らしさを伝えて認知度を高めるとともに、これらに興味を持つ人々の誘客を図るため、各文化財の名称、所在地、アクセス方法、歴史、及び写真・動画等について紹介するホームページを作成する。紹介する文化財については、随時追加する。（大館囃子教則映像記録事業において作成する普及用の映像記録についても、本ホームページ上で活用・公開予定） 平成30年度は概要版の作成。 平成31年度に細部を補てんし、完成。 平成32・33年度は外国語版の作成。				
評価指標区分：	・ホームページ閲覧数（PV数）		（具体的な指標は次のとおり）		
具体的な指標：	大館市文化遺産ホームページ閲覧数				
目標値：	【現状値】 平成 29 年度 0 PV ⇒ 【目標値】 平成 34 年度 70,000 PV				
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率				
平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	平成 35 年度
PV	PV	PV	PV	PV	PV
事業②：	大館市文化遺産パンフレット作成事業	実施団体：	大館神明社例祭余興奉納実行委員会 大館ばやし保存会		
事業区分：	情報発信	事業期間：	平成 30 年度 ～ 平成 32 年度		
事業概要：	かつての大館城下町の文化財について広く情報を発信して、県内外へそれぞれの素晴らしさを伝えて認知度を高めるとともに、これらに興味を持つ人々の誘客を図るため、各文化財の名称、所在地、アクセス方法、歴史、及び写真等について紹介するパンフレットを作成する。 平成30年度日本語版作成。 平成31・32年度外国語版作成。（中国語、韓国語、英語）				
評価指標区分：	・補助事業終了後のパンフレット等コンテンツ増刷数（自主事業分）		（具体的な指標は次のとおり）		
具体的な指標：	観光事業等と連携して、継続的にパンフレットを増刷し配布する。補助事業終了後の平成33年度以降に2,000部増刷予定。				
目標値：	【現状値】 平成 29 年度 0 部 ⇒ 【目標値】 平成 34 年度 8,000 部				
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率				
平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	平成 35 年度
部	部	部	部	部	部

事業③：	ヘリテージマネージャー育成事業				実施団体：	大館・北秋田建築士会	
事業区分：	人材育成				事業期間：	平成 30 年度 ～ 平成 34 年度	
事業概要：	歴史的建造物の保全活用に関する専門家の育成事業。 大館・北秋田建築士会が主催し、秋田県や秋田県ヘリテージマネージャー養成講座実施実行委員会、一般社団法人秋田県建築士会と連携して、地域の文化遺産の保存と活用に関する専門家（ヘリテージマネージャー）を育成する。 対象は建築士及び歴史的建造物の調査・修復保全活用等に関し、実績のある者。 平成30年度は、建造物や埋蔵文化財、歴史的建造物の活用等の専門家を講師として、講習会を実施する。 平成31年度以降は、実践活動を実施して課題解決に向けた視察や調査研修を継続する。 また、ヘリテージマネージャーのステップアップ講座を開催する。						
評価指標区分：	・ヘリテージマネージャー育成講座修了者によるヘリテージ活動件数					（具体的な指標は次のとおり）	
具体的な指標：	講習修了者が地域で行う実践活動及び課題解決に向けた視察や調査研修、ヘリテージマネージャーのステップアップ講座等の活動の件数						
目標値：	【現状値】 平成 29 年度 0 件 ⇒ 【目標値】 平成 34 年度 20 件						
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率						
平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	平成 35 年度		
件	件	件	件	件	件	件	
事業④：	秋田の祭囃子シンポジウム等開催事業				実施団体：	大館郷土芸能保存協会 大館神明社例祭余興奉納実行委員会	
事業区分：	普及啓発				事業期間：	平成 30 年度 ～ 平成 34 年度	
事業概要：	地域の共通課題となっている少子高齢化や後継者不足、継承活動等について、大館ばやし保存会等と秋田の祭囃子の祭囃子の交流を行い、歴史の紹介や情報発信をする講演会やシンポジウム等を開催し、課題の解決に向けた取り組みを行う。 平成30年度 パネルディスカッション 日時：11月（予定） 場所：中央公民館研修室（予定） 講師（予定）：秋田県民俗学会副会長 齊藤 寿胤 氏（さいとう じゅいん氏） パネリスト：大館ばやし保存会、鹿角市祭囃子団体、能代市祭囃子団体等 平成31～34年度継続開催：シンポジウム及びパネルディスカッション 日時：未定 場所：中央公民館研修室（予定） 講師等：未定						
評価指標区分：	・保存会への新規入会者数					（具体的な指標は次のとおり）	
具体的な指標：	大館ばやし保存会の会員数1.2倍を設定						
目標値：	【現状値】 平成 29 年度 21 人 ⇒ 【目標値】 平成 34 年度 25 人						
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率						
平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	平成 35 年度		
人	人	人	人	人	人	人	

事業⑤：大館囃子教則映像記録事業		実施団体：大館神明社例祭余興奉納実行委員会 大館ばやし保存会			
事業区分：記録作成		事業期間：平成 30 年度 ～ 平成 31 年度			
事業概要：市指定無形民俗文化財である『大館囃子』は、少子高齢化や後継者不足の課題があり、後世へ正確に承継されることを可能とするため、大館囃子の教則映像を作成する。 平成30年度 映像記録・編集 平成31年度 編集・完成					
評価指標区分：・記録映像の貸し出し（又は利用）回数等		（具体的な指標は次のとおり）			
具体的な指標：大館囃子の合同講習会や各地区の講習会で活用する。また、情報発信事業や普及啓発事業、観光事業、ふるさとキャリア教育等の取り組みと連携して、大館囃子の歴史や継承についての情報発信に活用をする。					
目標値：【現状値】 平成 29 年度 0 回 ⇒ 【目標値】 平成 34 年度 25 回					
進捗状況：		各年度、状況値、目標に対する達成率			
平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	平成 35 年度
回	回	回	回	回	回
事業⑥：大館囃子講習会事業		実施団体：大館神明社例祭余興奉納実行委員会 大館ばやし保存会			
事業区分：後継者養成		事業期間：平成 30 年度 ～ 平成 34 年度			
事業概要：大館神明社例祭は、市指定無形民俗文化財である『大館囃子』が祭り山車の中心となるが、後継者不足の課題があり、後世へ正確に継承されることを可能とするため、大館ばやし保存会会員や小・中学生を対象として、大館囃子の講習会を開催し、後継者の育成をする。また、大館囃子や大館神明社例祭等の歴史を紹介し、継承活動を学ぶことで地域に対する郷土愛を育む。					
評価指標区分：・祭礼行事への参加住民数		（具体的な指標は次のとおり）			
具体的な指標：大館神明社例祭余興奉納への参加者数（人口社会減の状況から、現状維持を設定）					
目標値：【現状値】 平成 29 年度 2,410 人 ⇒ 【目標値】 平成 34 年度 2,410 人					
進捗状況：		各年度、状況値、目標に対する達成率			
平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	平成 35 年度
人	人	人	人	人	人